

問題【社会】

豊臣秀吉に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 豊臣秀吉が統一的な基準で全国の田畑に行った政策を何と言いますか。
- (2) 豊臣秀吉が農民や寺社などから武器を取り上げた政策を何と言いますか。
- (3) 武士と農民の区別をはっきりさせることを何と言いますか。
- (4) 豊臣秀吉が九州で発布した、キリスト教を取り締まる法令を何と言いますか。
- (5) 豊臣秀吉が大名に対して私闘を禁じた法令を何と言いますか。

豆知識 雑学コラム

天下人・豊臣秀吉②

今回は秀吉のエピソードが中心でしたが、2回目の今回は政策面について見ていきます。

まずは「太閤検地」です。「天正の石直し」とも呼ばれます。貴族の私有地や複数の領主に年貢を納めなければならなかったりと、土地の問題は利害関係もからんで複雑でした。さらには測り方や納めるために使う枒もバラバラで、納める側からの自己申告制が多かったのです。良からぬことですが、ごまかせそうですよね…。秀吉は枒や単位の統一、石高制を導入することで、効率よく年貢を徴収するためにもこの複雑な状態を整理したかったのではないのでしょうか。太閤検地によって一つの土地には一人の耕作者（名請人）を決めることで、荘園などの私有地もなくなったとされています。

次は「刀狩」です。今でいうと「銃刀法違反だー！」といったところでしょうか。刀狩の目的として「農民に一揆を起こさせないようにし、農業に専念させる」と習った人も多いと思います。他にも当時の武士は農民が戦の時に徴兵される「半分農民、半分武士」の状態だったので専門部隊を作るため、あるいは京都の大仏の鑄造のためなどとも言われています。

太閤検地と刀狩の政策を通じて、武士と農民の区別がはっきり分かれる「兵農分離」が広まったといわれています。江戸時代には士農工商という身分制度ができますが、これは兵農分離をより進めた政策といえます。

この二つの政策以外にも、諸大名に戦をすることを禁止した「惣無事令」、キリスト教の布教を取り締まる「伴天連（バテレン）追放令」などがあります。惣無事令を出すことによって、この法令に違反したことを大義名分にして、九州征伐や北条氏を討伐していきました。伴天連追放令は九州征伐に赴いていた際に、キリスト教を脅威に感じて出されたものです。ですが、貿易などは行っていたため、徹底されたものではなかったとも言われています。織田信長、豊臣秀吉は戦上手なことはもちろん、政策面にかなり秀でたものがあるように思います。ただ戦いがうまいだけなら全国统一などは難しかったと思うので、これからも多く語り継がれていく人物ではないのでしょうか。次回はいよいよ戦国時代を終わらせる江戸幕府の礎をつくった徳川家康を見ていきます！

【解答】

- (1) 太閤検地 (2) 刀狩 (3) 兵農分離 (4) 伴天連（バテレン）追放令 (5) 惣無事令